





極端紫外線で見た太陽

<http://earth.dagik.org>

2012年3月7日00:15UT

2012年3月7日のX5.4フレア発生時のSTEREO衛星2機とSDO衛星による太陽の極端紫外線の観測です。

画像提供：NASA

<http://stereo-ssc.nascom.nasa.gov>

コンテンツ作成：情報通信研究機構

コンテンツ説明：

<http://dagik.org/S/6/1>

手作り地球儀のつくり方：帯型シート（直径7.5cm）

準備するもの

- 直径7.5cmの球（ガチャガチャカプセルや発泡スチロール球など）
- 印刷する紙（再剥離タイプのノーカットラベルシートをお勧め）
- カラープリンター（インクジェット式の方が色が剥がれずにきれいに作れます）
- カッターと定規（あるいはハサミでも）
- スプーンなど硬いもの（貼り付けた後で、シワを伸ばすのに使います）
- 磁石や重り（ガチャガチャカプセルの場合はカプセルの中に磁石や重りを入れられます。発泡スチロール球の場合は、穴を開けて埋め込むことができます。）

（印刷する）

- (1) 拡大縮小をせずに100%のサイズで印刷します。（画像が印刷されている帯の両端付近の線の間の長さが23.5cmくらいに印刷されます。）

（切る）

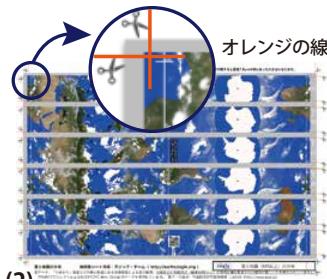
- (2) オレンジの線（灰色と画像の境界ではなく）でまっすぐに切り取り、6本の帶にします。

（貼る）

- (3) 数字の順番に貼ります、まずは①の帯を貼りましょう。
(4) カプセル球の線と、型紙の赤道の線を合わせて貼ります。数字が書いてある所を下に重ねるよう、南極等のマーク（黒点）も目印にしながら貼ります。
(5) 球を両手で軽く握り、紙①をなじませます。
(6) 次の②の帯を①の右側に貼ります。向きに注意してください、少しづつ重なるようになっていますので、赤道の短いたて線マーク++を重ねてください。
(7) あとは同じように繰り返し、線や画像ができるだけずれないように重ねて貼り合わせましょう。

（シワを伸ばす）

- (8) 貼り付けた帯がよれて、シワになっている部分を、スプーンの背中（丸い方）でこすって伸ばし、平らにしてください。全ての帯を貼ってからこすっても良いですし、1枚の帯を貼るごとにこすっても良いです。



(2)



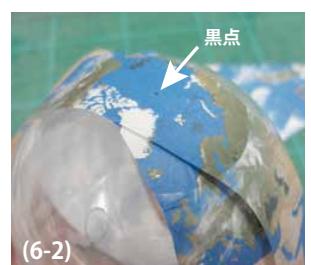
(3)



(4)



(6-1)



(6-2)



(7)